



平成 28 年 12 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン

代 表 者 名 代表取締役社長 本 間 英 明

(コード番号：6093 東証第一部)

問 い 合 せ 先 取締役執行役員 太 田 昌 景  
管 理 本 部 長

(TEL. 03-6703-0500)

## 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 12 月 14 日開催の取締役会にて、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 6 月 17 日に公表致しました平成 29 年 2 月期通期連結業績予想を下記のとおり修正することを決議致しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

平成 29 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当り 当期純利益
前回公表数値	2,342	534	530	362	44.34
今回修正数値	2,577	636	644	404	49.24
増減額	235	102	114	42	
増減率	10.0	19.1	21.5	11.6	
(参考) 前期実績	1,687	402	403	244	30.12

(注) 当社は、平成 28 年 12 月 1 日付けで普通株式 1 株につき 2 株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、1 株当たり当期純利益を算定しております。

#### 2. 修正の理由

当社グループの業績に影響を及ぼす住宅ローン市場においては、政府による住宅取得支援策により新築着工件数が回復基調にある中、金利動向においても平成 28 年 2 月期のマイナス金利政策以降、引続き長期金利の低下が顕著になり、住宅ローン借換えを始めとした融資申込件数が増加いたしました。

このような状況の中、当社グループにおいては、金融機関からの住宅ローン融資関連業務の受託件数が増加し、それに伴い、当社登録司法書士による A S P サービスを中心としたシステムサービス利用頻度も増加したことを受け、当初想定以上に B P O 事業・エスクロー事業共に業績が好調に推移いたしま

した。

その結果、平成 29 年 2 月期通期における売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては平成 28 年 6 月 17 日に公表しました業績予想を上回る見通しとなったため、業績予想を修正するものであります。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上